

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公表番号】特表2017-502501(P2017-502501A)

【公表日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2016-532145(P2016-532145)

【国際特許分類】

H 01 S	3/081	(2006.01)
H 01 S	3/00	(2006.01)
H 01 S	3/30	(2006.01)
H 01 S	3/083	(2006.01)
G 21 K	5/02	(2006.01)

【F I】

H 01 S	3/081	
H 01 S	3/00	A
H 01 S	3/30	
H 01 S	3/083	
G 21 K	5/02	X

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月12日(2016.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

独立した2つ以上のレーザーをそれぞれ増幅する共振鏡を備え、該共振鏡間に2つ以上のレーザーを周回させるレーザー光を形成させ、該レーザー光路を交差させる光学系を備える光共振器であって、2つ以上の偏向レーザーを独立して周回させることを特徴とする光共振器。

【請求項2】

前記レーザー光路の交差位置に電子ビーム導入部が挿入される光共振器であって、2つ以上の偏光レーザーを独立して周回させ、前記偏光レーザーに電子ビームが照射され、偏光X線を発生させる請求項1に記載の光共振器。

【請求項3】

前記偏光レーザーが偏光成分に分離された偏光レーザーであり、該偏光成分に電子ビームが照射され、偏光X線を発生させる請求項1に記載の光共振器。

【請求項4】

前記偏光レーザーが偏光成分に分離された偏光レーザーであり、該偏光成分に電子ビームが照射され、偏光X線を発生させる請求項2に記載の光共振器。

【請求項5】

前記偏光レーザー光路の交差位置に干渉縞を形成させる請求項1に記載の光共振器。

【請求項6】

前記偏光レーザーの交差位置の干渉縞に電子ビーム導入部が挿入され、干渉縞に電子ビーム照射され、X線を発生させる請求項5に記載の光共振器。

【請求項7】

前記光共振器として3次元8鏡光共振器が用いられる請求項1に記載の光共振器。

【請求項8】

前記光共振器として3次元8鏡光共振器が用いられる請求項2に記載の光共振器。

【請求項9】

前記光共振器として3次元8鏡光共振器が用いられる請求項3に記載の光共振器。

【請求項10】

前記光共振器として3次元8鏡光共振器が用いられる請求項4に記載の光共振器。

【請求項11】

前記光共振器として3次元8鏡光共振器が用いられる請求項5に記載の光共振器。

【請求項12】

前記光共振器として3次元8鏡光共振器が用いられる請求項6に記載の光共振器。